

## ラジオ関西「医療知ろう！」に出演

### 一村先生が唾液の大切さを知らせる

ラジオ関西番組「寺谷一紀と!い・しょく・じゅう!」内の協会提供コーナー「医療知ろう!」に、10月29日に尼崎支部から一村幸代先生(いちむら歯科クリニック)が「コロナ禍に思う、唾液の大切さ」をテーマに出演。

当日の様子は、放送後でも番組ブログや協会ホームページ(<http://www.hhk.jp/topics/2020/1006-090000.php>)からもご覧いただけます。



左から、一村幸代先生、アナウンサーの寺谷一紀さん、元SKE48の犬塚あさなさん

今後の支部からの出演予定 黒川晃夫先生(くろかわ皮膚科)  
テーマ「皮膚疾患を楽しく料理する!?(12月17日)」

兵庫保険医協会の開業医が、ラジオ番組「寺谷一紀と!い・しょく・じゅう!」「医療知ろう!」コーナーで「新型コロナウイルスはこれからどうなるの?」「インプラント治療ってなに?」など身近な医療に関する疑問にお答えします。毎週木曜日夜7時25分ごろからは、ラジオ関西(AM558KHz)をぜひお聞きください。

聴く、医療。  
**医療知ろう!**

毎週木曜日 / PM6:00~8:00  
コーナー / PM7:25~7:35頃  
放送期間 / 2020年10月~2021年3月

ラジオ関西 AM558 FM91.1 AM 558KHz. / 1395KHz. (県北部) / FM91.1MHz.

## 兵庫県保険医協会 尼崎支部ニュース

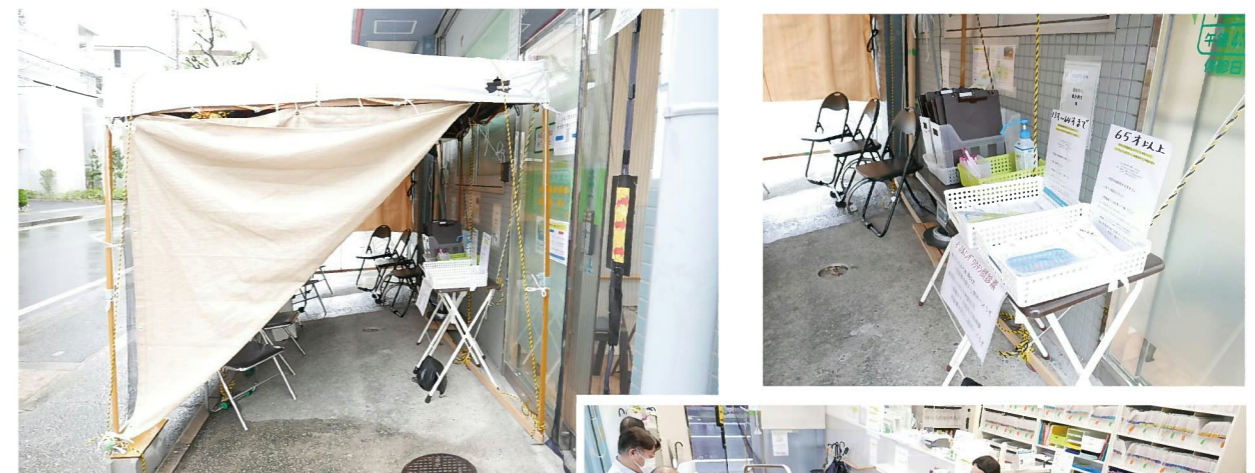
414号

2020年12月5日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31  
神戸フコク生命海岸通ビル5階 兵庫県保険医協会 尼崎支部  
TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

### はせがわ内科見学会

## 発熱外来の実践を交流



医院横に設置した屋外待合スペース(写真左上)  
屋外スペースに置かれた問診表(写真右上)  
見学を終えて意見交流する支部幹事(写真右下)

新型コロナウイルス感染とインフルエンザ流行に備え、必要とする人が、いつでも、どこでも相談・検査・治療できる体制づくりが急がれる。10月17日第560回尼崎支部幹事会で、インフルエンザ流行期に備えた発熱外来の設置を終えた「はせがわ内科」の見学会を行い、幹事ら8人が参加した。

はせがわ内科は、①コロナ抗原・PCR検査が可能になることで、「当院に来れば見つけてもらえる」という安心感が得られる、②院内環境を守るために体調不良者全員を診療所内に入れられない体制づくり、③職員と家族を最前線の検査で守ってみせるという姿勢で、発熱

(2面につづく)



(1面のつづき)



(写真左) 発熱・感染症状の方、コロナ感染症疑いの方への屋外掲示案内  
(写真右) 発熱患者の診察スペース。ビニールカーテン越しに診察を行う

外来の設置に向けて8月から臨んできた。そして、9月から新型コロナウイルス感染症に対するPCR検査(唾液・経鼻)・抗原検査が公費で実施できる医療機関として保健所と個別契約を行い、インフルエンザ流行期における経鼻検査も実施できる体制を整えた。

発熱外来を設置してからの変化として、「ここに来ればすぐに調べてもらえる」という安心感、院内に体調不良者はいないという安心感、在宅患者のサービス継続のための安心感が得られたことが報告された。

参加者から、「地域医療を守るためにも発熱を鑑別できる医療機関の追加が望まれる」、「県から防護具などの支給をしてほしい」などの意見が出され交流を深めた。

## 見学会を終えて

はせがわ内科・長谷川吉昭

コロナウイルスの流行に際し、尼崎市でも多くの問題が出ました。他の地区と同様に発熱者に対する対応を保健所から各医療機関に丸投げされた結果、検査ができないわれわれ医療機関への信頼と安全が揺らぐ結果となりました。また、現在でも処方長期化や不安な方への電話再診を行い、患者さん自身の通院控えもあり各医療機関の経営は困窮を極め続けています。そのような中、他の地区に先駆け尼崎市では9月から唾液によるPCR検査、10月から抗原検査も可能になりました。この事により、各医療機関が独自に発熱外来を設置できるようになりました。さらに、発熱検査医療機関の登録に多くの医療機関が手挙げをし地域の医療崩壊を防ごうとしています。発熱外来の整備には通常の患者さんへの配慮だけでなく勤務する職員の安心と同意が必要です。さらに手間・暇・時間だけでなく多大な費用もかかります。しかし、国が策定した補助金は一般患者さんが多い診療所ほど補助金が減額される奇っ怪なもので、頑張っている医療機関ほど燃え尽きるのではと危惧しています。この保険医の現状を知ることができる保険医協会こそが現状を把握し、世間と行政に伝えていただきたく思います。



問題点と課題を報告する長谷川先生

## 第29回日常診療経験交流会でコロナ禍の診療を交流

# 感染拡大防止の工夫や苦勞を報告



野村医院の笠井管理栄養士が演題発表



分科会で報告する笠井裕美氏(左上)

第29回日常診療経験交流会が11月1日「世界が動き出した今」をメインテーマに、神戸市産業振興センターで開催され、会員、スタッフなど55人が来場し、40人がZoomを用いたオンライン視聴で参加した。

分科会では尼崎支部から、野村医院の管理栄養士の笠井裕美氏が「新型コロナウイルス感染症・感染拡大防止への取り組み」について報告。

野村医院では、2009年の新型インフルエンザ以降から設けている発熱外来を使い、一般と発熱で導線を分けて隔離部屋で対応している。7月末には、地域住民の理解と協力を得て、医院裏口駐車場にユニットハウスを設置した。

笠井氏は「院内・施設内でクラスターが発生すれば閉鎖に追い込まれる可能性があり、法人の経営と地域の医療・介護体制にも影響し、風評被害も懸念される。安心して医療・介護活動が継続でき、発熱患者が行き場を失わないためにも、感染者発生の際の公的な休業補償や診療・介護収入への補填などの支援が急がれる」とした。

## 第561回幹事会だより

11月20日(金) 於: 阿部歯科・矯正歯科

○ 尼崎支部の会員数

11/19現在 医科387人、歯科168人

○ 医療をめぐる情勢と運動対策

歯科医療機関における新型コロナウイルス感染対策について阿部歯科・矯正歯科の見学会を兼ねて開催し意見交流した。今後の支部幹事会の開催方法と支部企画について、議論した。

○ 次回日程

12/24(木) 14:00 ~ わたや整形外科(阪急塚口駅から徒歩12分)

お問い合わせはTel 078-393-1805 沖野・石本まで

